



# 第61期中間報告書

平成25年4月1日 ▶ 平成25年9月30日

## 日本開閉器工業株式会社

■お問い合わせ

〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1  
管理部：TEL.044 (813) 8026 FAX.044 (833) 5270

日本開閉器工業株式会社



スイッチ分野で世界のトップを目指す——

事業拡大よりもお客様に信頼され、感動していただける差別化された  
特長ある企業を目指しています。

厳しい事業環境が続きましたが、  
足元の業績は回復してきております。  
目標達成に全力で取り組んでまいります。



代表取締役社長  
大橋智成

**産業用スイッチ業界の状況と、  
業績の概況をお聞かせください。**

2013年度上半期における日本経済は、円高是正が進み  
株価の上昇気運が見られましたが、企業の設備投資は依  
然として低調に推移いたしました。また、海外経済につ  
きましても、北米は財政問題の混乱が悪影響を及ぼして  
市況を低迷させ、欧州は全般的に停滞しており、頼みの  
アジアをはじめとする新興国経済は減速の動きが見られ  
ました。一般社団法人日本電気制御機器工業会（NECA）  
によれば、2013年9月末時点での電気制御機器の出荷統  
計は前年同期比で104.4%とわずかながらプラスでした。  
しかしながら、操作用スイッチは99.4%とほぼ横ばいで  
あり、アベノミクス効果が实体经济へ波及している実感  
は乏しい状況です。

こうした中、当社グループは中期経営計画「Quantum  
Leap Breakthrough」の下、世界一の産業用スイッチメー  
カーへと成長するべく北米市場におけるシェアアップを  
最重要課題に掲げ、拡販強化に取り組みました。また、メー  
カーの使命である「ものづくり」の継続をさらに盤石な  
ものとするため、開発力・技術力・品質力の向上に努め

ました。

次に地域別の概況ですが、ここ数年順調に成長してい  
た北米市場において財政問題の影響による景気失速の懸  
念等から市況にブレーキがかかり、現地通貨ベースの売  
上高は前年同期比で若干の減少となりました。また、日本  
市場においては販売強化項目を中心に足で稼ぐ営業に取  
り組みましたが、売上高は低迷しました。中国市場にお  
きましても経済の減速感が広がっており、NKKブランド  
の認知は広がっているものの、現地通貨ベースの売上高  
は減少しております。しかしながら為替の追い風等もあり、  
当社グループの連結売上高は35億6千8百万円（前年同期  
比0.2%減）、連結営業利益は2億9千4百万円（同4.6%減）、  
連結経常利益は3億2千7百万円（同16.5%増）という結  
果となりました。

**改めて北米市場における  
販売戦略をご説明ください。**

当社にとりまして北米市場は売上全体の25%以上を占  
める、きわめて重要な市場です。現在、地域密着型のロー  
カルディストリビューター（LD）、デザインインレベルの

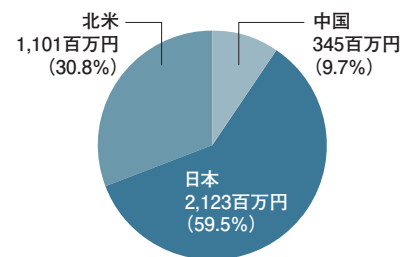


受注に強みを持つカタログディストリビューター（CD）、全世界で販売活動を展開するグローバルディストリビューター（GD）の3つのルートを通じて製品を販売しております。

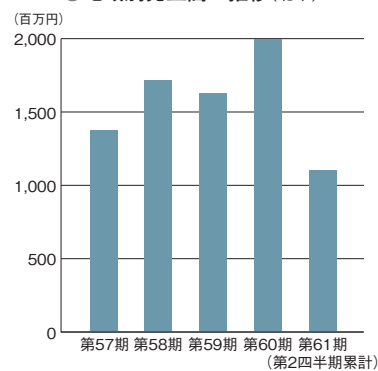
2012年3月期からの中期経営計画「Quantum Leap Breakthrough」のもと、トッププライオリティーである北米市場シェアアップのためGDとのさらなる関係強化に努めてまいりました。前期まで順調に業績を伸ばしてまいりましたが、ここに来て市況の影響を受け勢いに若干陰りが出てきました。このため当社としても元手となる部分を活性化する必要から、デザインエンジニアリングレベルでの受注に強みを持つCDにフォーカスを当て、2013年4月に大手CDと世界販売契約を締結しました。これにより新規顧客の開拓・獲得を図るとともに、新規デザインへのNKK製品の採用を増加させることで、最終的に量産ベースに移行したときにGDの売上拡大へと期待しております。

## ■ 地域別売上高の推移

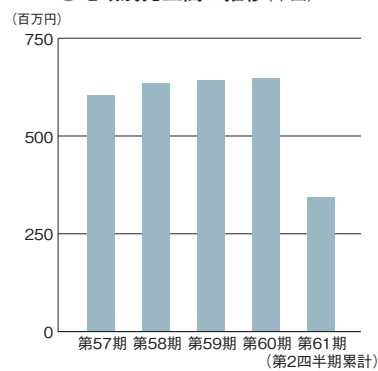
● 地域別売上高構成（第61期第2四半期累計）



● 地域別売上高の推移（北米）



● 地域別売上高の推移（中国）



## 5月に稼働した新基幹システム「ANSWER」の運用は順調でしょうか。

おかげ様でこれまでのところ大きな混乱もなく稼働しております。「ANSWER」は、納期短縮による競争力強化のために導入したシステムです。ただ、コンピュータが動きさえすれば納期が改善されるわけではありません。この仕組みが順調に廻っていくためには、「人間」の側もしっかり役割を果たすことが条件です。例えば、現場を廻る社員がお客様から精度の高い情報を集め、それをシステムに入力することにより、はじめて理想とする納期を実現することができます。さらなる上を目指し、次は「人間」の変革に取り組みたいと考えております。

## 産学協同で「ロッカIS自律走行ロボット」を製作された経緯をお聞かせください。

2013年9月に、東京工芸大学との産学協同により「ロッカIS自律走行ロボット」を製作いたしました。これは走行条件等のセッティングを行う部分に「有機ELディスプレイロッカIS」を使用しており、センサーが障害物を感知して避けながら進むことができます。これまで当社のものでづくりは、自社研究、自社開発というスタイルを貫いてきました。しかし、あらゆるものがスピード化している時代に対応していくためには、自社研究・自社開発だけではなく、それぞれの強みを活かした戦略が必要と感じております。そこで新たな技術への挑戦という意味合いからも、産学協同の研究に積極的に取り組んでいます。今後も、大学をはじめとする教育研究機関とのコラボレーションを続けてまいります。

## 社名を「NKKスイッチズ」へ変更されますが、どのようなご決断からでしょうか。

今はグローバル化、ボーダレス化が進み、「世界」という一つの市場が存在する時代へと変わりました。アメリカや日本でデザインインされたものがメキシコや中国で生産されるなど、国境を越えてビジネスがどんどん増えています。当社グループは日本、北米、中国で異なる社名でビジネスを展開してまいりましたが、グローバル化した市場で競争するうえでプラスにはなりません。世界で最も知られ、最も選ばれる産業用スイッチメーカーになるためには社名の統一が不可欠と判断し、ロゴマークについては5年前にグループ全体で統一し、社名は2014

年4月に「NKKスイッチズ」へ変更を予定しております。これにより、当社グループの世界市場における存在価値を高めたいと考えております。

## 下半期の見通しと戦略をお聞かせください。

上半期は厳しい結果となりましたが、足元では順調に回復してきており、下半期は徐々にプラスに向かうものと見込んでおります。特に、現状では低調だった日本市場での引き合いを確実に受注に結びつける質の高い営業へシフトしていき、受注までの販売プロセスを戦略的に推進いたします。また、本年11月には3つの展示会に出展するなど、既存市場のみならず新しい分野へビジネスチャンスを広げる努力を続けてまいります。

## 最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

2014年3月期は3年間にわたる中期経営計画「Quantum Leap Breakthrough」の集大成の年であり、当社の創立60周年でもあります。結果を出すことが、何よりの使命であると考えております。上半期は非常に厳しい状況にありましたが、これは競合他社も変わりません。北米市場でのシェア10%獲得という目標に何となくも到達するため、最後まで突き進んでまいります。NKKグループは今後も前向きな努力を続けてまいり所存でございますので、株主の皆様におかれましてはこれまでと変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 商号変更

## 2014年4月1日 新生「NKKスイッチズ株式会社」スタート

2014年4月1日から、「NKKスイッチズ株式会社」に商号変更いたします。

新商号：日本語／NKKスイッチズ株式会社

英 文／NKK SWITCHES CO., LTD.

## 新商品

## 156%\*画面拡大のワイドビューISシリーズ新発売

放送・音響機器をはじめ、広範な産業分野の機器に搭載実績があるLCD搭載の多機能押ボタンスイッチISシリーズ。高解像度IS、高解像度コンパクトIS、スタンダードISでワイドビュー化が実現。スタンダードISのスイッチでは表示エリアを156%に拡大、さらにバックライトでは超高輝度RGBを品揃えいたしました。従来品と端子配列・ボタンサイズは同一でそのまま置き換え可能など顧客志向を考慮しております。

\*36×24ドットスタンダードIS（スイッチ）：当社比



スイッチ、表示モジュールなど全8種をリリース

## ホームページ

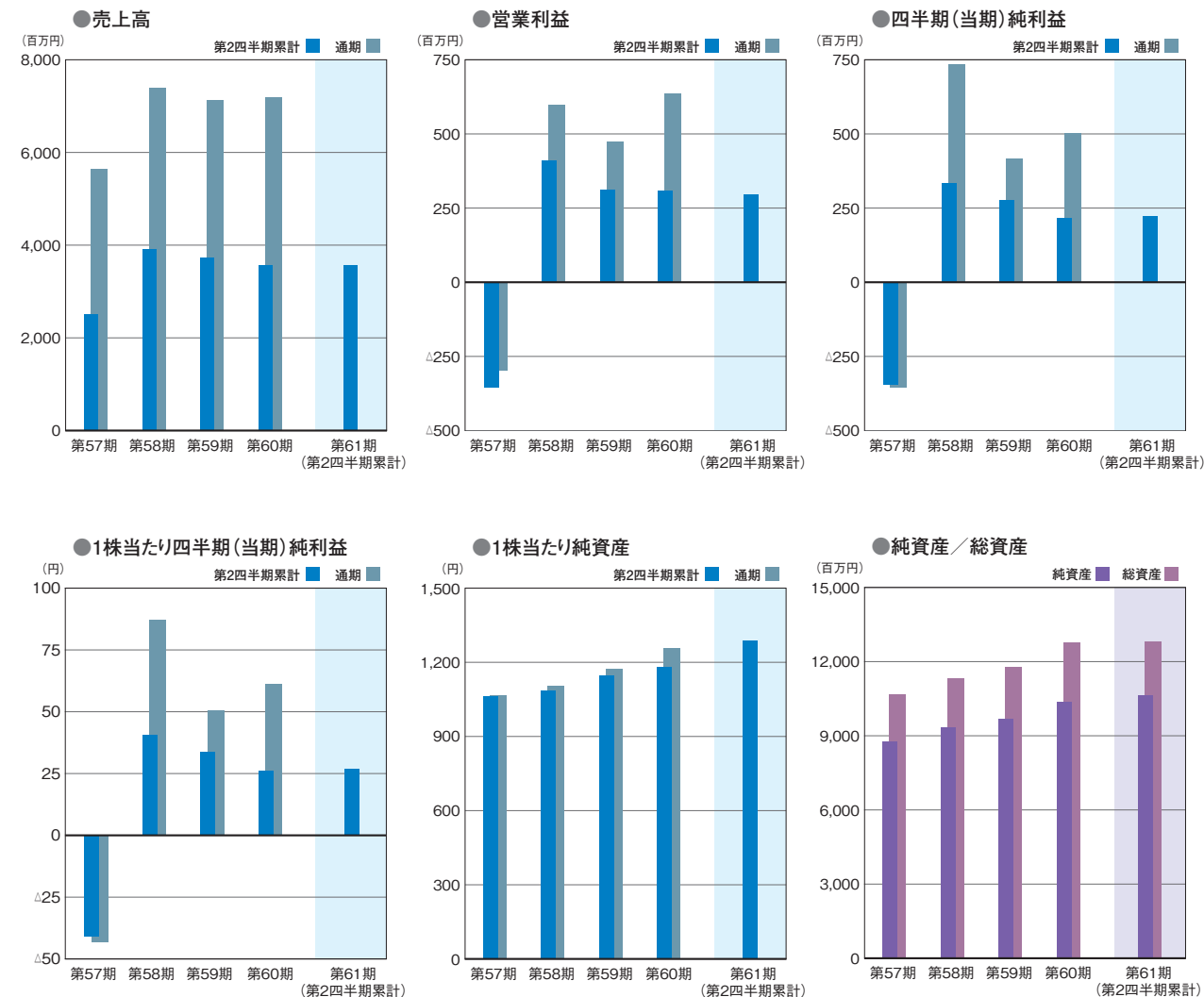
## Facebook開設 NKKをソフトに表現しております

Facebook始めました。NKK本社のある川崎・多摩川近辺の情報など今までの企業情報と違った柔らかな情報をNKKから発信しています。もちろん「スイッチの基礎知識」や「展示会レポート」などNKKならではの情報も掲載されており「いいね！」もたくさんいただいております。従来とは一味違ったイメージでNKKファン化に努めておりますので、是非、ご覧になってみてください。

<https://www.facebook.com/nkkswitchesJP>



## 主要財務データ（連結）



## ■ 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成25年3月31日現在)	
	当第2四半期連結会計期間末 (平成25年9月30日現在)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成25年3月31日現在)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,686,043	5,826,020
受取手形及び売掛金	1,325,137	1,361,974
商品及び製品	973,522	769,001
仕掛品	115,877	130,072
原材料及び貯蔵品	1,194,037	1,190,092
繰延税金資産	121,067	115,320
その他	94,176	98,429
貸倒引当金	△ 2,582	△ 2,464
流動資産合計	9,507,280	9,488,445
固定資産		
有形固定資産	1,398,181	1,426,599
無形固定資産	634,375	661,160
投資その他の資産	1,248,010	1,185,194
固定資産合計	3,280,568	3,272,953
資産合計	12,787,848	12,761,399

(単位：千円)

科目	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成25年3月31日現在)	
	当第2四半期連結会計期間末 (平成25年9月30日現在)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成25年3月31日現在)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,142,380	1,223,469
未払法人税等	47,428	104,184
引当金	105,624	124,500
その他	379,190	478,365
流動負債合計	1,674,623	1,930,519
固定負債		
繰延税金負債	90,831	75,522
役員退職慰労引当金	169,000	162,200
退職給付引当金	129,264	122,127
その他	116,459	115,450
固定負債合計	505,556	475,300
負債合計	2,180,180	2,405,820
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	8,963,400	8,799,736
自己株式	△ 159,029	△ 158,227
株主資本合計	10,589,475	10,426,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	204,833	162,844
為替換算調整勘定	△ 186,641	△ 233,879
その他の包括利益累計額合計	18,192	△ 71,034
純資産合計	10,607,667	10,355,579
負債純資産合計	12,787,848	12,761,399

## ■ 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	
	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	3,568,525	3,574,881
売上原価	2,051,747	2,157,998
売上総利益	1,516,778	1,416,883
販売費及び一般管理費	1,222,631	1,108,484
営業利益	294,146	308,399
営業外収益		
受取配当金	13,862	11,434
為替差益	22,429	—
受取賃貸料	4,337	4,694
その他	5,357	4,915
営業外収益合計	45,987	21,044
営業外費用		
支払利息	661	761
売上割引	9,087	7,791
賃貸収入原価	2,503	2,315
為替差損	—	37,265
その他	368	216
営業外費用合計	12,621	48,351
経常利益	327,513	281,091
特別損失		
固定資産除却損	6,843	403
特別損失合計	6,843	403
税金等調整前四半期純利益	320,669	280,688
法人税、住民税及び事業税	112,080	54,527
法人税等調整額	△ 12,724	10,888
法人税等合計	99,356	65,415
少数株主損益調整前四半期純利益	221,313	215,273
四半期純利益	221,313	215,273

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	
	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,840	527,249
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 201,434	△ 327,360
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 57,961	△ 66,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	31,579	△ 29,397
現金及び現金同等物の増減額	△ 139,976	103,708
現金及び現金同等物の期首残高	5,826,020	5,715,625
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,686,043	5,819,334

## ■ 会社概要

商号	日本開閉器工業株式会社 (NIHON KAIHEIKI IND. CO., LTD.)
創業	昭和26年4月1日
設立	昭和28年12月11日
資本金	951,799千円
従業員数	連結223名 単体155名
本社事務所	〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
事業所	名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所
主な事業内容	産業用各種スイッチの製造・販売
連結子会社	横浜パオニクス株式会社 NKK Switches of America, Inc. 日開香港有限公司 恩楷楷(上海)开关有限公司
ホームページ	http://www.nikkai.co.jp/
上場取引所	東京証券取引所 (JASDAQ)

## ■ 取締役および監査役

代表取締役社長	大橋 智成
常務取締役	市川 忠夫
取締役	青木 明裕
取締役	大橋 宏成
取締役	塚 正 勉
取締役	大貫 一 光
常勤監査役	中村 正
監査役	佐藤 悦雄
監査役	坂本 哲夫

## ■ 株式の状況

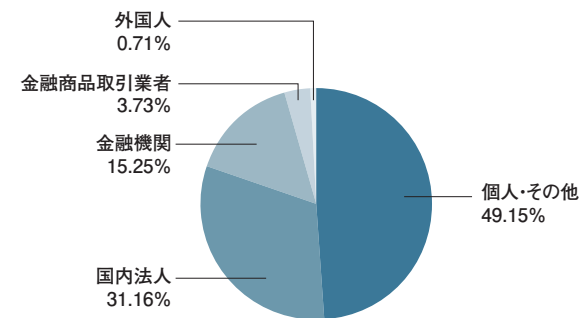
発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数	8,425,200株
株主数	715名

## ■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ビッグブリッジ	1,320	15.66
株式会社三井住友銀行	410	4.87
株式会社三菱東京UFJ銀行	348	4.13
大橋 宏成	293	3.47
大橋 尚子	280	3.33
太陽生命保険株式会社	225	2.68
大橋 千津子	201	2.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	201	2.38
大橋 智成	192	2.28
富岡 友子	186	2.21

(注) 1. 当社は自己株式を190千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ■ 所有者別持株比率



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
公告方法	当社ホームページ http://www.nikkai.co.jp/において、電子公告いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について  
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。  
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。